

平成27年度 議会傍聴者数

定例会名	内容	人数
第1回臨時会（5月）	本会議	5人
第2回（6月） 定例会	本会議	113人
	常任委員会	—
第3回（9月） 定例会	本会議	93人
	常任委員会	2人
	決算特別委員会	47人
第4回（12月） 定例会	本会議	58人
	常任委員会	2人
第1回（平成28.3月） 定例会	本会議	70人
	常任委員会	—
	予算特別委員会	52人
合計		442人

地域医療の再生

小児二次救急医療体制維持と
医師確保に対する考えは

答弁：小児救急医療体制を確保するための更なる財政支援について、関係市町で協議しながら考えてまいります。また、産婦人科や救急科などの市内開業を促進する制度を設けるなどして、医師の確保に努めてまいります。

小坂 徳蔵 議員

小坂 この地域の医療崩壊は、極めて深刻であると言えます。1つ目として、医師不足による小児二次救急医療体制が危機に直面している問題については、体制を維持するための支援が必要であることです。2つ目としては、市内の医師を中長期的に確保する対策を講じていくということですが、この2点について、具体的に施策を展開していくことが必要であると思います。市長 小児の救急医療体制の確保については、土屋小児病院を中心として小児科の医師を確保する対策を講じていた、大きくお願いするとともに、更なる財政支援についても、事情によっては関係市町と協議しながら対応を考えてまいります。また、医師の確保については、産婦人科や救急科などの市内での開業を促進する支援制度を設け、様々なところに情報を発信しながら、医師の確保に努めてまいります。いずれにしても、医療体制の確保については、最重

議案等に対する討論

本会議において、採決の前に、議案等に対する討論が行われました。討論の一部を掲載いたします。

賛成討論

題、同和事業継続の問題など容認できない問題について指摘し、本案に反対するものです。

平成28年度一般会計
当初予算

反対討論

予算の内容を詳細にわたって調査・審査すると、その中には行政の著しい立ち遅れと、子どもと保護者の願いに背いている問題、また市民の立場から到底容認できない血税の大無駄遣い、個人情報漏えいの危惧など、基本的な問題を指摘せざるを得ません。具体的には、セキュリティ対策に問題のあるマイナンバー制度の導入、小・中学校へのエアコン未設置の問題、

合併6周年を迎えますが、合併以来市民の皆様との協働により、ワンランクアップのまちづくりに取り組んできました。提案されています平成28年度予算は、協働による人も地域も元気な加須市づくりを推進する年と銘打ち、加須市まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置付けた4つの基本目標である、安定した雇用を創出する、新しい人の流れをつくる、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る実現に向けた施策を講じています。

また、厳しい財政環境

の中で、第2次加須市行政経営プランに基づき、行政改革と財政健全化を推進するため、収支の均衡、債務残高の圧縮、将来への備えの3つを財政運営の基本姿勢とし、効果的かつ効果的施策を提案されているため、賛成いたします。



学童保育室の様子